

令和6年10月22日

研修だより 38号



授業参観を通して

小笠原康晃

10月7日（月）の訪問で、先生方の授業を参観させていただきました。

その中で、共有したいことがありましたので、お伝えします。

1つめは「目線」です。

スマイル1・2組の授業では、重松先生、前嶋先生の子どもたちを見る目線が印象的でした。

今後、校外学習で行く「のんほいパーク」の写真を見て、説明をしている場面でした。

重松先生は、パソコンの画面と子どもたちをずっと交互に見ていました。

子どもたちの理解度や反応を確かめながら、授業を進めていました。

前嶋先生は、重松先生の説明の補足をしながら、子どもたちの様子を見ていました。

子どもの様子を見ながら、個別に話しかけたり、子どもを指名したりして、子どもたちが集中できるような指導をしていました。

重松先生、前嶋先生は、常に子どもを見ていました。

普段の授業でも、子どもたちを見る「目線」を意識することで、授業改善にも繋がると思いました。